

(別紙3)

事業所名 グループホームひなた

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	「身体拘束をしないケアの実践」として、毎月、職員会議で研修を行っているが、特にスピーチロックについて職員間での温度差がある。	施設理念の「みんなで作ろう明るいひなた」の施設になるよう「身体拘束のない施設づくり」を掲げたい。	今後も施設内研修を継続し、認知症についての理解や身体拘束におけるスピーチロックについて、現場で実践できるような研修を取り入れていきたい。	12ヶ月
2	13	毎年のように大きな災害が各地で発生している。事業所としては人家の少ない地域に所在しているため、近隣の協力が得にくい。施設独自の災害時の具体的な対策を検討していく必要がある。	地域や法人内を含めた災害対策マニュアルを作成する。	地域の消防団や消防署、警察署と話し合の場を持ち、現状の地域の災害対策について意見交換する。また、法人全体での緊急時の対応について話し合いの場を持ったり、地域住民の方々にも協力していただけるような関係性を築いておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月